



公益財団法人かながわ健康財団

腎・アイバンク推進本部たより



～あなたの意思で救える命があります～

公益財団法人かながわ健康財団
腎・アイバンク推進本部
本部長 澤井 博司
(神奈川県医師会 副会長)



腎・アイバンク事業の推進にあたり、日頃からご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
本事業は、アイバンクが 1981 年から、腎バンクは 2012 年からスタートして以来、
県民の皆さんに広く角膜・腎臓の提供登録及び移植のあっせんを行うとともに、角膜及
び腎臓移植についてのご理解とご協力を呼びかける運動を展開しているところでござ
います。

平成 29 年度の状況でございますが、角膜については、提供のご承諾をいただいた方
は 483 名、実際に角膜を提供していただいた方は 74 名と、全国でも上位の実績を挙げ
ることが出来ました。また、腎臓については、提供のご承諾いただいた方は 174 名、実
際に腎臓を提供していただいた方は、3 名でございました。

このような成果をあげることができたのは、献眼献腎をいただいた方のご家族をはじ
め、摘出医の先生方、ライオンズクラブ関係者の方々をはじめ、多くの皆様のご尽力の
賜物と心より感謝申し上げます。

臓器移植の推進につきましては、改正臓器移植法により本人の意思が不明の場合でも
家族の承諾で提供できるようになったことや、提供の意思表示についても免許証やマイ
ナンバーカード等で可能となったことなど、制度面は整備されてきたものの、摘出にあ
たってはご遺族の同意が必要なことから、登録した方のご家族のご理解が重要であります。

このため、私ども推進本部としても腎・アイバンク事業を
さらに推進していくため、献腎、献眼についての啓発活動に
一層の努力をしてまいりますので、今後とも更なるご支援ご
協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



平成 29 年度の事業報告

1. 普及啓発活動等の主なもの

- (1) 電子看板による広報媒体
京浜急行線 横浜駅改札 デジタルサイネージ広報 (9月11日～9月17日)
- (2) 電車内広告での広報 窓上広告
横浜市営地下鉄ブルーライン 窓上広告 (9月29日～10月29日)
- (3) 広報紙を通じての啓発
「やさしい心でささえあって」毎日新聞 <朝刊> (4月27日)
- (4) 街頭広報活動 等
- ①フェスティバル協賛参加

実施期日	活動内容	活動場所
H29年11月25日	献眼・献腎推進街頭キャンペーン	クイーンズサークル (横浜みなとみらい)

②各地域市民・区民まつり等のライオンズクラブ各種イベントへの参加

実施期日	活動内容	活動場所
H29年8月6日	献眼・献腎推進街頭キャンペーン	小田原ダイナシティ(小田原LC)
H29年11月3日	献眼・献腎推進街頭キャンペーン	横浜市・東戸塚小学校 (戸塚中央LC)
H30年3月4日	献眼・献腎推進街頭キャンペーン	小田原ダイナシティ(小田原LC)

③健康づくり事業との共同事業の開催

実施期日	活動内容	活動場所
H29年10月29日	県民健康講演会	横浜情報文化センター
H29年11月3日	女性の健康づくりフェア	フェリス女学院大学
H29年11月18日	受動喫煙防止フォーラム	クイーンズサークル (横浜みなとみらい)
H29年11月20日	県・市町村未病改善シンポジウム	神奈川県立地球市民かながわプラザ
H30年1月13日	がん克服シンポジウム	県総合医療会館
H30年2月27日	メディカルセミナー神奈川	はまぎんホール

- (5) パンフレット・申込書付リーフレット等啓発資料の配付
ポスター (1,160枚)・チラシ (13,700枚) 意思表示カード (14,200枚)・その他啓発ティッシュ等

- (6) 出前研修
(ライオンズクラブ)

実施日	開催団体名等	会場等
H29年10月4日	ライオンズクラブ献眼推進委員会	ライオンズクラブキャビネット

(学校関係)

実施日	学校名	人数	備考
H29年4月24日	県立保健福祉大学	80名	看護学科
H29年5月9日	県立麻生総合高校	20名	
H29年5月18日	同上	20名	
H29年5月19日	同上	20名	
H29年5月16日	浦賀中学校	15名	総合学習の授業
H29年11月9日	横浜中央看護専門学校	80名	

(7) グリーンライトアップキャンペーン

グリーンリボンは世界的な移植医療のシンボルであり、10月の「臓器移植普及推進月間」に合わせてより多くのかたに臓器移植について理解してもらうため、県内のタワーなどをグリーンライトアップしこれに併せてキャンペーンを行った。

☆横浜マリンタワーにてイベント（10月12日）

- ・フェリス女学院大学音楽学部による演奏会
- ・ライティングショー開催

☆ライトアップ

横浜市開港記念館（10月1～12、10月17～27日）

横浜マリンタワー・大観覧車「コスモクロック 21」
（10月10～12日）

大船観音（10月14～16日）

鶴見つばさ・橋川崎マリエン（10月16日）



(8) 献眼者慰霊祭の実施

11月8日（水） セレモニーホール神奈川

2. 腎臓提供登録者及び献腎者数

区分	平成29年度			平成30年3月31日 までの累計
	男性	女性	合計	
角膜提供登録者	249名	234名	※483名	126,287名
献眼者	42名	32名	※74名	1,933名
角膜移植者	70名	61名	131名	3333名

(献眼内訳)

- ・家族の申し出 33名
- ・意思表示
(意思表示カード・
保険証免許証) 12名
- ・オプション提示 17名
- ・登録 11名
- ・不明 1名

※角膜提供登録者数は全国で第7位、献眼者数は全国で第3位です。

3. 臓器移植推進のための研修及び協議会など

- 院内臓器移植コーディネーター研修会（3回）
6月28日、10月25日、2月8日 計126名
- 院内臓器移植コーディネーター協議会(2回)
7月6日、2月23日 計65名
- グリーンケア学習会 2月8日 35名
- 第五類型施設説明会 10月5日 32名
- 臨床検査技師研修会 12月6日 35名
- 院内体制整備支援 49回

4. 平成29年度 協力医療機関

<角膜摘出医療機関>

医療機関名
聖マリアンナ医科大学病院
北里大学病院
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
横浜市立大学医学部附属病院
東海大学医学部附属病院
独立行政法人国立病院機構横浜医療センター
藤沢市民病院
東京医科大学病院
東京大学医学部附属病院

<角膜あっせん医療機関>

医療機関名
佐伯眼科
ルミネ秦野眼科
横浜南共済病院
昭和大学横浜市北部病院
横浜市大附属市民総合医療センター
慶応義塾大学病院
東京医科大学病院
東京歯科大学市川総合病院
東京大学病院
順天堂大学病院
埼玉医科大学病院
日本大学医学部附属板橋病院
山梨大学附属病院
大島眼科（福岡）
大阪大学医学部附属病院



AC ジャパンによる
2018 年度支援キャンペーン



日本アイバンク協会
2018 年度広報ポスター
バイオリニスト 「前橋 汀子さん」

5. 平成 29 年度資金のご協力

～心より感謝申し上げます～

神奈川県からコーディネーター設置事業の委託を受けているほか、次のとおり資金のご協力をいただきました。

<市町村>合計 1,107,000 円

横浜市(補助金)	横須賀市	小田原市	相模原市	秦野市
川崎市(補助金)	平塚市	三浦市	厚木市	大和市
伊勢原市	鎌倉市	清川村	山北町	大井町
海老名市	藤沢市	愛川町	松田町	中井町
座間市	茅ヶ崎市	湯河原町	開成町	二宮町
南足柄市	逗子市	真鶴町	箱根町	大磯町
綾瀬市	葉山町	寒川町		

<ライオンズクラブ>合計 1,338,000 円

川崎生田	川崎田島	横浜旭	横須賀
横浜	川崎中央	横浜あおば	相模原グリーン
横浜中央	愛川	横浜保土ヶ谷	厚木さつき
横浜伊勢佐木	横浜本郷	横須賀南	川崎
横須賀中央	平塚なでしこ	三浦	相模原南
山北	横浜港南	川崎東	小田原白梅
大和中央シティ	秦野丹沢	横浜元町	大和リバティ
横浜東戸塚	横浜たちばな	横浜神奈川東	茅ヶ崎グリーン
横浜港南台	厚木	新横浜	平塚しらさぎ
横須賀東	平塚	横浜中央市場	横浜ふじ
厚木もみじ	川崎橘	横浜金港	横浜瀬谷
湯河原	相模原あじさい	相模原けやき	相模原西
横浜戸塚	横浜リバティ	藤沢	Yokohama bell
横浜泉	秦野あづま	小田原	

<寄付>合計:554,000 円

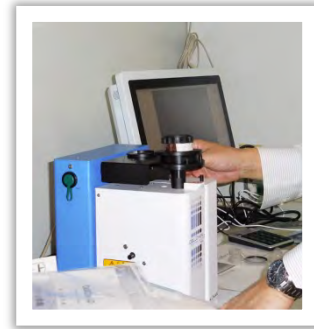
内海敬治様、武蔵野興業(株) 河野義勝様、神奈川県眼科医会様、湘南アイバンク様、望月友宏様 ほか

協力資金・寄付金の活用～

ご協力頂きました資金等は、移植あっせんに係る経費のほか、献眼いただきました角膜をより良い状態で移植へとつなげることができるよう、平成30年度には角膜内皮細胞を測定するスペキュラーマイクロスコープを購入する費用などの一部に活用させて頂いております。

スペキュラーは、ルミネはたの眼科（藤沢市）及び、横浜市立大学医学部眼科教室に設置し活用しています。

スペキュラーマイクロスコープ



6. 平成 29 年度収支報告(腎・アイバンク事業会計)

(収入の部)

科 目	決 算 額	摘 要
基本財産運用益	3,547,600	
特定資産運用益	26	
受 取 会 費	1,338,000	
事 業 収 益	29,985,000	角膜あっせん手数料 県受託料収入
受 取 補 助 金	2,234,309	横浜市、川崎市 臓器移植ネットワーク
そ の 他	5,000	
経 常 収 益 計	37,109,935	
A 当 期 収 益 計	5,195,602	

(支出の部)

科 目	決 算 額	摘 要
給 料 手 当 等	18,228,356	給料手当・福利厚生費・退職給付費用等
臨 時 雇 用 賃 金	581,511	臨時雇用賃金
通 信 運 搬 費	682,776	郵便、電話他
消 耗 品 費	2,974,157	眼球保存液、義眼、 容器他
印 刷 製 本 費	630,668	申込書、ポスター、 リーフレット他
委 託 費	1,306,699	血液検査委託他
そ の 他	7,510,166	謝金、弔慰金、広告 宣伝費他
経 常 費 用 計	31,914,333	

湘南アイバンクチャリティコンサート

平成 30 年 6 月 3 日（日）、湘南アイバンクチャリティコンサートの席上で参加者からの、寄付をいただいたほか大勢の方に、献眼、献腎のご登録をいただきました。



中央が日下部会長

湘南アイバンク
第14回湘南アイバンクチャリティコンサート
もっと光を★もっと響きを

1984年神奈川県藤沢市生まれ、5歳で鈴木メソッドにてヴァイオリンを始め、7歳で名倉家子氏に師事。桐朋女子高校音楽部(共学)、ウイン医立自業大学を経て現在ウイン在籍。

1999年日本クラシック音楽コンクール3位
2006年Allegro Vivoオーストラリア国際音楽コンクール1位
2006年大塚国際コンクール第3位(1位なし)
2009年3月デビューリサイタル開催(王子ホール)
2009年12月NHK交響楽団「第九演奏会」出演(NHKホール)

GUEST 田代 純子 (ピアノ)

講演 秦野 寛
Yosuke Hatano [violin/ヴァイオリン]
MC 宮川 浩子
秦野 陽介
アライアメントコンサート

田代純子 たしろじゅんこ
真田聖明女子音楽専攻
専攻科ピアノ専攻科生
そのほか、ルン・実用大学
を卒業。トロンボーン、
フランスの各地にてクラ
イック・コンサート演奏を
行う。横浜線、ソフィア
ビル名、武蔵野、NHK-
FM等出演。

秦野 寛 ほんのひろし
現在、ルミネはたの眼科
院長、湘南女子大学
医学部臨床実習指導、
専門分野は移植医療。
救急科、ICU等勤務。
神奈川県立医学部前
方官(山口真)受賞。

宮川浩子 みやかわひろこ
神奈川県藤沢市出身。
藤沢市内の西、コロンチ
FMのDJ活動を経て
アライアメントコンサート
専攻。藤沢市内の流通、
イベントの指導者。また、
2004年秋から秋のレ
ーションを担う。活躍中。

2018/6/3(日) せれー13:00- 演奏13:10 コンサート14:00 (開場12:30)
藤沢市民会館小ホール 入場料 前売り 2,500円 当日 2,800円 (全席自由)

チケット申込み・お問い合わせ: 湘南アイバンク TEL 0466-30-5891 090-4704-4365
FAX 0466-34-3016

主催: 湘南アイバンク 協賛: 医療法人 湘陽会 ルミネはたの眼科
後援: (公財)かながわ健康財団腎・アイバンク推進本部 藤沢市教育委員会 J・COM 湘南 レディオ湘南
(株)湘南・みらい新聞社 江ノ電沿線新聞社 毎日新聞読者販売所

献眼・献腎推進街頭キャンペーン

平成 30 年 8 月 18 日（土）、小田原市のダイナシティ・イーストにて小田原ライオンズクラブ（会長：岩本和弘）が《献眼・献腎推進該当キャンペーン》を行いました。

当財団の金沢室長も参加し、猛暑の中、大勢の方に献眼、献腎のご登録をいただきました。



小田原ライオンズのクラブの皆様




登録の様子


臓器提供の意思表示をお願いします

意思表示の方法


臓器提供の意思は、以下の5つで表示できます。




健康保険証




運転免許証



マイナンバーカード



意思表示カード



インターネット

インターネットで臓器提供に関する意思を登録すると、IDの入ったカードが発行され、いつでも意思の変更や削除ができます。

協年会費・寄付金のお願い

支援くださる会員を募集しております。

会費等は、移植あっせん事業のための経費として活用させていただきますので、皆様の暖かいご支援をお待ちしております。

なお、当財団にご寄付等いただいた場合には所得税控除等税制上の優遇措置が受けられます。

○協年会費

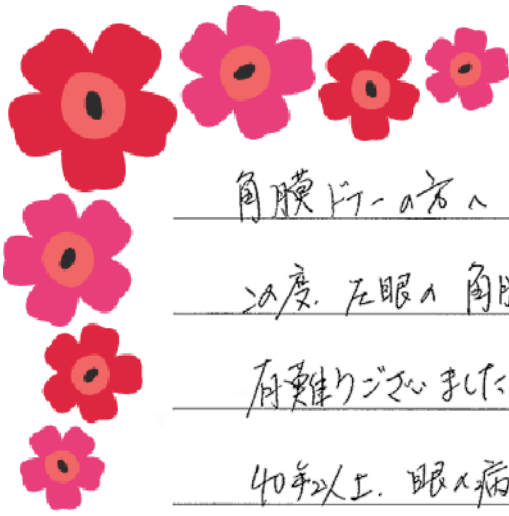
団体・特別会費	1 口	10,000 円
通常会費	1 口	2,000 円

○寄付金

ご連絡を頂きましたら、当所より振込用紙等をお送りさせていただきます。

角膜移植を受けた方からの

サンクスレター



角膜ドナーの方へ

一度、左眼の角膜を提供して頂き、本当に

有難うございました。失明の危機を乗り越えることができました。

40年以上、眼の病気治療を続けてきましたが、

両眼の角膜が白く濁り、年々視力が下がりました。

日常生活も自立できなくなり、おりました。先日、

ついに左眼の角膜に穴が開き、このままでは

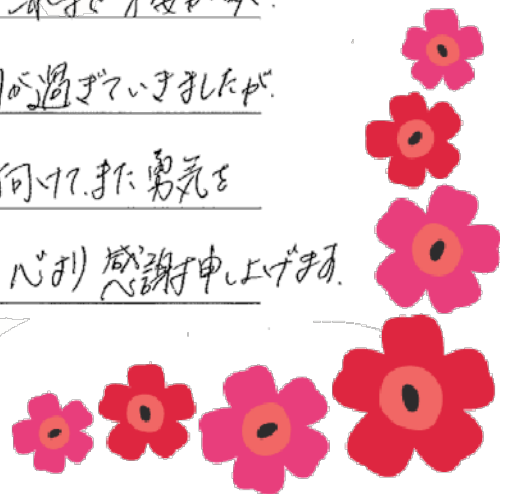
失明のリスクが高く、移植以外の治療法は

ないと言われて、手術に決まりました。しかし不安が多く、

手術で決まれば心を決められ、時間が過ぎていきましたが、

この手術を受けた事、視力回復に向けて、お力をお借りし

ながら治療にのぞけたこと、心から感謝申し上げます。



発行：公益財団法人かながわ健康財団

〒231-0037 横浜市中区富士見町 3-1 神奈川県総合医療会館 5階



腎・アイバンク推進本部



☎045-242-3961